

港区

「地域包括ケア推進事業」

令和6年度報告(令和6年12月末時点)

【掲載内容】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 港区の地域包括ケアの推進について | 5 在宅療養後方支援病床の運用実績 |
| 2 地域包括ケアを推進する会議報告 | 6 地域包括ケア研修会の実施報告 |
| 3 地域包括ケアを推進する連絡会の報告 | 7 普及啓発 |
| 4 港区在宅療養相談センターの運用 | |

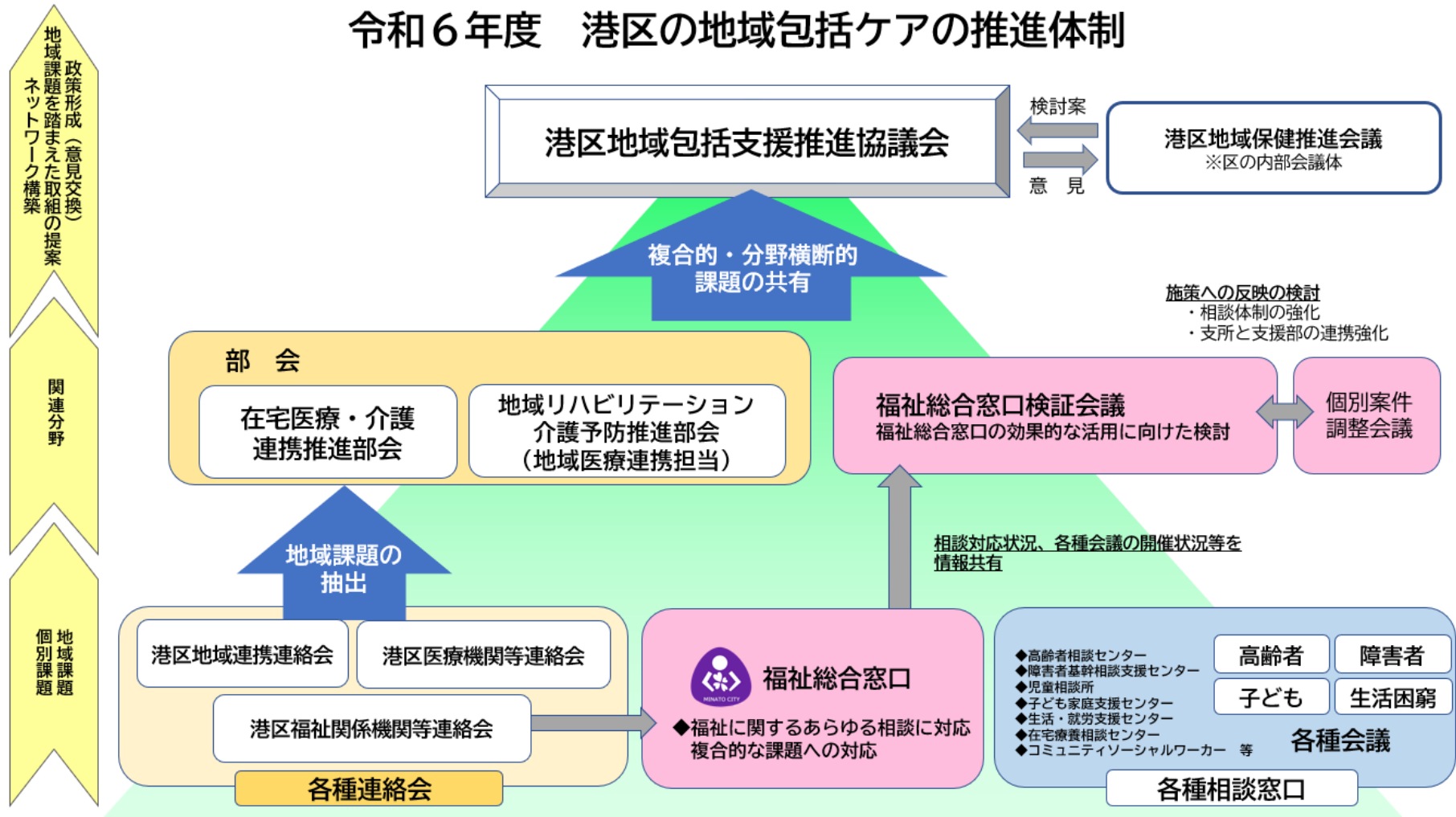
港区保健福祉支援部保健福祉課

1 港区の地域包括ケアの推進について

(1) 港区の地域包括ケアの推進体制

港区ならではの地域包括ケアの推進に関する事項や更なる多機関・多職種の連携を推進する協議のため、区では港区地域包括ケア推進会議設置要綱に基づき、各種会議を開催しました。

令和6年度 港区の地域包括ケアの推進体制



(2) 地域保健福祉計画における項目と事業について

地域福祉分野

中項目	小項目	事業	主な内容
港区ならではの地域包括ケアの推進	(1) 地域包括ケアの推進体制の充実	①推進体制の強化	・港区地域包括支援推進協議会 ・在宅医療・介護連携推進部会 ・地域リハビリテーション・介護予防推進部会 ・港区地域連携連絡会
		②関係機関連携の推進による地域課題への対応	
	(2) 重層的支援体制整備事業の実施	①相談支援体制の充実	・福祉総合窓口 ・福祉関係機関等連絡会 ・重層的支援体制整備事業
		②アウトリーチを通じた継続的支援の充実	
		③地域社会への参加支援	
	(3) 医療と介護の連携の推進	①在宅療養推進体制の充実	・港区在宅療養相談センター ・在宅療養後方支援病床 ・港区医療機関等連絡会 ・地域包括ケア研修会
		②医療機関等との連携体制の強化	
		③情報共有による多職種連携の推進	
	(4) 効果的な情報発信	①区民等への啓発	・在宅療養ガイドブック ・区民公開講座 ・医療機関・介護事業者検索システム ・ホームページ、デジタルサイネージ等の活用 ・各種イベント等への参加
		②支援者間における情報の発信と共有	
		③各種媒体による情報発信	

健康づくり・保健分野

中項目	小項目	事業	主な内容
安心できる地域保健・地域医療体制の推進	(3) 支え合いによる地域保健活動の強化	①地域リハビリテーション体制の充実	地域リハビリテーション・介護予防推進部会

2 地域包括ケアを推進する会議報告

(1) 港区地域包括支援推進協議会

港区の地域包括ケアの推進に向けた取組及び調整のほか、各分野相互の情報共有等を協議しました。

回数	開催日	議 題 等
第1回	令和6年7月24日 (リモート・参集併用)	1 令和5年度 港区の地域包括ケア推進事業の報告について 2 令和6年度 港区の地域包括ケアの推進について 3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 4 重層的支援体制整備事業について
第2回	令和7年1月29日 (リモート・参集併用)	1 令和6年度の各種事業報告 (1) 地域包括ケア推進事業の報告 (2) 認知症の早期発見・早期対応について 2 重層的支援体制整備事業について (1) 試行事業の報告 (2) 令和7年度港区重層的支援体制整備事業実施計画(素案) 3 あんしん未来・終活サポート事業について

港区地域包括支援推進協議会 委員名簿 令和6年度第1回開催時点(敬称略)

氏 名	職 名 等
河合 克義 ◎	明治学院大学 名誉教授
坪田 淳 ○	東京都港区医師会 会長
岡崎 正史	東京都港区芝歯科医師会 会長
兼松 由美子	東京都港区麻布赤坂歯科医師会 副会長
北村 兼一	東京都港区薬剤師会 会長
関根 和彦	東京都済生会中央病院 副院長
嶋津 多恵子	国際医療福祉大学大学院 教授
高木 信之	港区介護事業者連絡協議会 事務長
長谷川 浩義	港区社会福祉協議会 事務局長
田中 泉	港区民生委員・児童委員協議会 会長
清原 元輔	港区町会・自治会連合会 会長
大澤 鉄也	保健福祉支援部長
笠松 恒司	みなと保健所長

◎会長 ○副会長

(2) 在宅医療・介護連携推進部会 ※港区地域包括支援推進協議会の下部組織

港区の在宅医療及び介護に関する連携の推進のため、各団体等の情報共有やガイドブックの作成等を検討しました。

回数	開催日	議 題
第1回	令和6年9月4日 (リモート・参集併用)	1 令和5年度 地域包括ケア推進事業の報告 2 令和6年度の取組について (1) 在宅療養ガイドブックについて (2) 在宅療養後方支援病床の名称について 3 その他
第2回	令和7年1月22日 (リモート・参集併用)	1 令和6年度の各種事業報告 (1) 地域包括ケア推進事業の報告 (2) 認知症施策の報告 2 ACPの取組について 3 その他

港区地域包括支援推進協議会 在宅医療・介護連携推進部会会員名簿 令和6年度第2回開催時点（敬称略）

氏名	職 名 等
安田 淳 ◎	東京都港区医師会 常務理事
菰池 信彦	東京都港区医師会 担当理事
華岡 眞幸	東京都港区芝歯科医師会 副会長
兼松 由美子	東京都港区麻布赤坂歯科医師会 副会長
青木 美子	東京都港区薬剤師会 副会長
福田 恵子	地域医療機能推進機構 東京高輪病院 医療連携・患者支援センター 社会福祉士
平松 シゲ子	医療法人財団厚生会 古川橋病院 看護部長
前田盛 貢	港区介護事業者連絡協議会 居宅介護支援部会長
小宮山 由香	港区介護事業者連絡協議会 訪問看護部会長
南塚 恵	港区立がん在宅緩和ケア支援センター 副施設長
海江田 太司	芝浦港南地区高齢者相談センター（地域包括支援センター白金の森） 管理者
高嶋 慶一	港区社会福祉協議会 事務局次長

◎部会長

(3) 地域リハビリテーション・介護予防推進部会

※港区地域包括支援推進協議会の下部組織です。
※事務局：港区みなと保健所 地域医療連携担当です。

地域リハビリテーション及び介護予防に関する取組の情報共有や関係団体等との連携の推進について検討しました。また、昨年度に引き続き区中央部リハビリテーション支援センター（東京慈恵会医科大学附属病院）と連携し、区民講座を実施しました。

今年度の活動

	開催日・会場	内容・議題
区民講座	令和6年10月30日（水） 介護予防総合センター・ラクっちゃ	【保健福祉支援部高齢者支援課との共催事業】 第1部 安保 雅博先生講演会 区民講座「楽しくチャレンジ！フレイル予防でアクティブシニア！ いつまでも動けるからだづくりをしませんか？」 講師：安保 雅博先生（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 教授） 第2部 港区の健康アプリ「チャレンジみなと」体験会

(今後の活動)

令和7年2月7日（金）（予定） 地域リハビリテーション推進会議

港区地域包括ケア推進会議 地域リハビリテーション・介護予防推進部会員名簿 令和6年度4月時点（敬称略）

氏名	職 名 等
安保 雅博 ◎	東京慈恵会医科大学附属病院 副院長、リハビリテーション科 診療部長
腰塚 裕	アットホーム表参道クリニック 整形外科・リハビリテーション科 院長
西山 誠	六本木にしやま整形外科 整形外科 院長
白土 貴史	地域医療機能推進機構 東京高輪病院 副院長、リハビリセンター長
佐藤 志穂子	麻布地区高齢者相談センター（南麻布地域包括支援センター） 社会福祉士
小宮山 由香	88ホームメディカルケア株式会社 訪問看護部会 会長
江成 務	介護予防総合センター センター長
大石 真由美	アステイジ株式会社 居宅介護支援部会（居宅介護支援）

◎部会長

3 地域包括ケアを推進する連絡会の報告

地域包括ケアの推進体制の充実

重層的支援体制整備事業の実施

医療と介護の連携の推進

(1) 港区地域連携連絡会

港区在宅療養相談センターにおける相談対応の検証や医療資源の情報共有及び地域課題に関する検討等を中心に、各関係団体等との関係性の構築を目指す目的として、港区地域連携連絡会を開催しました。

第1回	日時	令和6年10月17日（木）19時30分～20時30分
	会場	芝浦区民協働スペース
	参加者	13人(医師会、歯科医師会、薬剤師会、区内病院、ケアマネジャー、訪問看護師、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、高齢者相談センター等)
	議題等	1 港区在宅療養相談センターの運営状況等について 2 令和6年度の主な取組について (1) 在宅療養ガイドブックについて (2) 在宅療養後方支援病床の名称について 3 その他
	内容	港区在宅療養相談センターの運営状況や相談事例、取組内容を共有したほか、今年度改訂予定の在宅療養ガイドブックの内容や、在宅療養後方支援病床の周知用名称について意見を伺いました。

(2) 港区福祉関係機関等連絡会

令和4年8月に各総合支所区民課に設置した福祉総合窓口を効果的に機能させるため、福祉に関する各分野の相談を実施している関係者間の連携を深め、日常的に情報共有が図れる関係づくりを目的として、開催しました。

第1回	日時	令和6年6月25日（火）15時～17時
	会場	区役所内会議室
	参加者	29人(各地区高齢者相談センター、障害保健福祉センター、精神障害者支援センター、障害者支援ホーム南麻布、児童発達支援センター、新橋はつらつ太陽、生活・就労支援センター、在宅療養相談センター、社会福祉協議会、各地区区民課保健福祉係・生活福祉係、高齢者支援課、障害者福祉課、子ども家庭支援センター・生活福祉調整課、みなと保健所健康推進課)
	議題	1 開会のあいさつ 2 参加者紹介 3 包括的な支援体制の構築に向けて ～包括的な支援体制整備の経緯と福祉総合窓口 重層的支援体制整備事業～ 4 港区重層的支援体制整備事業の各事業について 5 その他
	内容	重層的支援体制整備事業の概要について事務局から説明した後、各事業にあてはまりそうなケースについてグループごとに意見交換を行いました。
	主な意見	・支援を行う上では、生活の全てを見ることができるといような支援体制が必要 ・本人同意を取る際に、誰が本人と話をするか考える必要がある。本人とどのように話をするか、誰が話をするか、時間をかけて進めていく必要がある。

第1回港区福祉関係機関等連絡会の様子



第2回	日時	令和6年12月19日（木）15時～17時
	会場	芝公園区民協働スペース
	参加者	33人(各地区高齢者相談センター、障害保健福祉センター、精神障害者支援センター、障害者支援ホーム南麻布、児童発達支援センター、新橋はつらつ太陽、生活・就労支援センター、港区ひきこもり支援専用相談窓口、在宅療養相談センター、社会福祉協議会、各地区区民課保健福祉係、生活福祉係・障害者福祉課・高齢者支援課、子ども家庭支援センター、港区児童相談所、みなと保健所健康推進課)
	議題	1 開会のあいさつ 2 参加者紹介 3 関係機関による業務内容の説明 ・港区児童相談所 ・子ども家庭支援センター 4 港区重層的支援体制整備事業の進捗状況について 5 港区重層的支援体制整備事業に関する調査の結果について 6 グループワーク 7 その他
	内容	重層的支援体制整備事業の進捗状況について共有した後、多機関・多職種が連携するケース支援の実際についてグループワークを行いました。
	主な意見	・相手の担当部署で何ができるのか、何ができないのかを知っているかどうかで協力依頼をする際の声掛けも異なってくるため、相手を知っておくことが大切。 ・他のサービスに繋げるためには、関係機関の役割や実情、具体的な支援内容や繋がりやすい方法などを把握しておく必要がある。日頃から相互理解をして、顔の見える関係を作っておくことが大切である。

第2回港区福祉関係機関等連絡会の様子



(3) 港区医療機関等連絡会

港区ならではの地域包括ケアの推進のため、医療機関と在宅療養等に関する情報共有などの連携強化を図り、ケース対応等におけるネットワークの構築を目的として、港区医療機関等連絡会を開催しました。

第1回	日時	令和6年10月29日（火）14時～15時
	会場	オンライン開催
	参加者	20人(区内11病院のソーシャルワーカーまたは看護師、在宅療養相談センター、事務局)
	議題	1 医療機関等連絡会の今後の方向性について 2 入退院調整の流れと留意点について 3 港区医療機関ソーシャルワーカーネットワークの活動状況について 4 区からの情報提供 5 その他
	内容	医療機関等連絡会の今後の方向性について確認するとともに、港区医療機関ソーシャルワーカーネットワークが取り組んでいる「身寄りなし支援」について、区の実情を情報提供した上で意見交換を行った。
	主な意見	・「入退院調整の流れと留意点」について、ソーシャルワーカーは調整だけではなく支援も行っているため、名称をもう一度検討してほしい。 ・終活・身元保証サポート関連事業について、制度設計の段階から医療機関の意見を取り入れてほしい。 ・「身寄りなし支援」以外の地域課題についても話し合う機会を設けて欲しい。

4 港区在宅療養相談センターの運用

医療と介護の連携の推進

港区在宅療養相談センターは、医療機関及び福祉関係機関への訪問等により連携を一層進め、退院から在宅へ切り替わる際の相談対応や在宅療養に関する情報共有等、相談の機能強化を図りました。

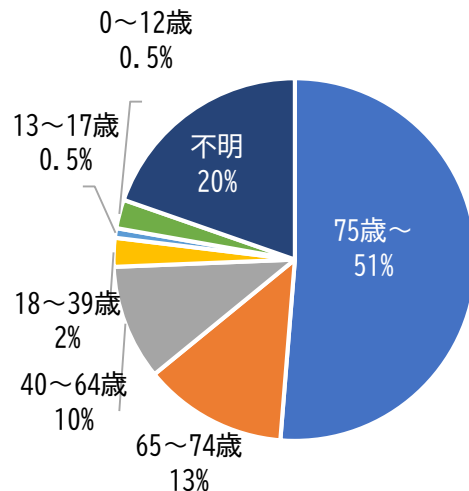


(1) 相談・問合せ実績（令和6年4月～12月分）

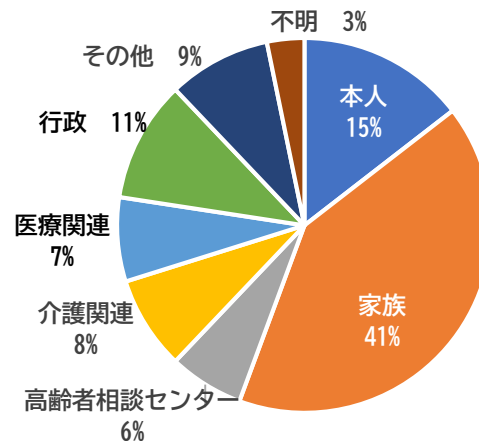
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	16	12	11	9	12	21	14	13	-	-	-	118

過年度年間件数	令和5年度 173件	令和4年度 約 288件	令和3年度 258件
---------	------------	--------------	------------

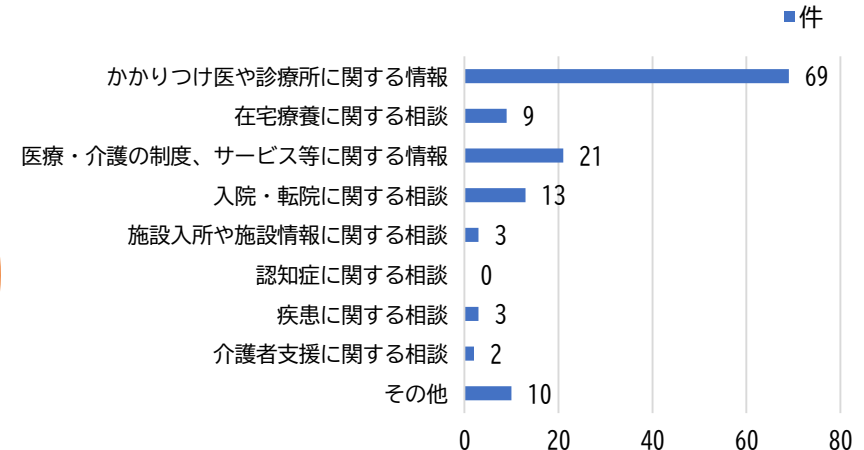
対象者の年齢



相談者の内訳



相談・問合せ内容（複数計上あり）



(2) 多機関との連携

三師会や各地区高齢者相談センター、福祉総合窓口と連携しながら相談対応を行いました。また、福祉関係機関等連絡会への出席や、毎年更新している港区在宅療養相談センターの令和6年度版を関係機関に直接お渡しする等により、顔の見える関係性の構築・維持を図りました。

(3) 相談対応以外の取組

ゆるーく終活始めよう～まずは考えの整理からもしバナゲームで考えよう～

(三田いきいきプラザとの共催)

日時：7月30日(火)

場所：港区立三田いきいきプラザ

参加者数：13名

内容：「あと半年の命。あなたは何を大切にしたいですか？」をテーマに、
1グループ4人ずつとなりスタッフも加わって4グループで実施

<参加者の感想>

- ・終活の一步前の講座がよかった。
 - ・ゲーム形式で楽しく4人グループに講師の先生が入ってくださり話し合えてよかった。
 - ・他の方のお話を聞けてよかった。
 - ・カード形式がよかった。
- 楽しくあっという間の時間だった。



5 在宅療養後方支援病床の運用実績

医療と介護の連携の推進

区内2病院（東京高輪病院、古川橋病院）と協定を締結し、（平成29年3月22日）、一時的な入院が必要な区民が、速やかに入院することができる病床を確保することを目的とし、運用しました。

（1）入院目的（令和6年4月～12月分まで）

	レスパイト	介護者の急病・介護困難	対象者の加療	合 計
件数	18	23	77	118

過年度年間件数	令和5年度 166件	令和4年度 162件	令和3年度 134件
---------	------------	------------	------------

（2）利用者の年齢区分（令和6年4月～12月分まで）

	64歳以下	65歳～74歳	75歳以上	合 計
人数	5	10	103	118

（3）港区在宅療養後方支援病床の運用に関する連絡会

6月と11月に連絡会を開催し、在宅療養後方支援病床の利用方法や運営状況等について、区、2病院、港区在宅療養相談センターで情報を共有しています。

（4）周知用名称について

在宅療養後方支援病床について、2病院より「周知用名称をつけることで利用を促したい」と希望があったため、いくつか名称の案を作成し、今年度開催した在宅医療・介護連携推進部会や地域連携連絡会で意見を伺いました。

結果、「みなと在宅療養サポート入院」（略称：在サポ）という周知用名称が決まりました。

(5) 周知

みなと在宅療養サポート入院
(港区在宅療養後方支援病床) をご利用ください

「みなと在宅療養サポート入院とは」
在宅療養をしている区民が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう、病状の急変時や介護する家族等の休養が必要な場合(レスパイト)に、当該区民が速やかに入院できる仕組みです。
※ただし、利用条件等があるため、必ずしも利用できるわけではありません。

【利用対象者】在宅療養中の区民 【入院期間】基本は14日以内 ※要請により延長も可
【利用料】利用料は、利用開始前までに申請し、事前に支払いが必要です。

申込の流れ

①電話で相談、申込
②申込者へ利用可否を連絡

医師・ケアマネジャー等の支援者
③申込者へ利用可否を連絡

みなと在宅療養サポート入院
施設例院

※申込時は、必ず診療情報が必要なので、かかりつけ医療機関を把握してからご連絡ください。
かかりつけ医がいない場合は各病院に相談の上、外来を受診して受入判断となります。

【東京臨海病院】
診療時間：診療時間センター
☎03-3443-9576 (直通)
【受付時間】 平日 8:30~17:00

【港区立総合病院】
診療時間：診療時間センター
☎03-3443-9191 (代表)
【受付時間】 土・日・夜間
※夜間17:00以降

利用方法に関する情報は港区在宅療養相談センターまでご連絡ください。
☎03-6435-0758 【受付時間】 土・日・夜間 9:00~17:00

関係者向けチラシ

周知用名称を記載した関係者向けチラシを作成。12月以降、高齢者相談センター等の関係機関や区内13病院、三師会へ配布。

港区ホームページ
周知用名称を掲載。

在宅療養後方支援病床の利用について

【医師の判断・条件あり】
在宅療養をしている区民が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう、病状の急変時や介護する家族等の休養が必要な場合(レスパイト)に、当該区民が速やかに入院できる仕組みです。

【連絡先】
港区在宅療養相談センター
(利用方法に関する問い合わせ)
主治医・かかりつけ医・ケアマネジャー
(利用が必要な相談先)

【協定を締結している病院】
東京臨海病院 港区高輪3-10-11
☎03-3443-9576
港区立総合病院 港区南麻布2-10-21
☎03-3453-5011

【利用料】
利用料は、利用開始前までに申請し、事前に支払いが必要です。

【利用方法に関する情報は】
港区在宅療養相談センターまでご連絡ください。
☎03-6435-0758
【受付時間】 土・日・夜間 9:00~17:00

リーフレット

港区在宅療養相談センターのリーフレットに掲載。

「みなと在宅療養サポート入院(港区在宅療養後方支援病床)」のご案内

みなと在宅療養サポート入院(港区在宅療養後方支援病床)とは

在宅療養をしている区民が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう、病状の急変時や介護する家族等の休養が必要な場合(レスパイト)に、当該区民が速やかに入院できる仕組みです。

※ただし、利用条件等があるため、必ずしも利用できるわけではありません。

利用対象者

- ・港区民で在宅療養中の方
- ・主治医や訪問看護センターより、管理及び指導が行われている方
- ・主治医等が一時的な入院の必要があると認めている方

申込の流れ



港区介護事業者連絡協議会機関誌

「みなと在宅療養サポート入院」の記事を掲載し、ケアマネジャーや訪問看護ステーションに周知。

「みなと在宅療養サポート入院(港区在宅療養後方支援病床)」のご案内

【みなと在宅療養サポート入院とは】
在宅療養をしている区民が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう、病状の急変時や介護する家族等の休養が必要な場合(レスパイト)に、当該区民が速やかに入院できる仕組みです。

※ただし、利用条件等があるため、必ずしも利用できるわけではありません。

- 利用対象者：在宅療養中の区民
- 入院期間：基本14日以内 ※要請により延長も可

【協定を締結している病院】
東京臨海病院 港区高輪3-10-11 ☎03-3443-9576
港区立総合病院 港区南麻布2-10-21 ☎03-3453-5011
※利用申し込みは、必ず医師やケアマネジャー等の支援者の方からご連絡ください。

利用方法に関する情報は、港区在宅療養相談センターまでご連絡ください。
☎03-6435-0758
【受付時間】 土・日・夜間 9:00~17:00



6 地域包括ケア研修会の実施報告

医療と介護の連携の推進

港区医師会を中心に、港区芝歯科医師会、港区麻布赤坂歯科医師会、港区薬剤師会、各回の担当病院にご協力いただき開催しました。

第1回港区地域包括ケア研修会の様子 



	第1回	第2回	第3回
日時	令和6年7月12日（金） 19時15分～20時30分 （オンライン開催）	令和6年10月18日（金） 19時15分～20時30分 （オンライン開催）	令和7年2月28日（金） 19時15分～20時30分 （オンライン開催予定）
参加数	136人	85人	-
担当病院	東京慈恵会医科大学附属病院	北里大学北里研究所病院	JCHO東京高輪病院
テーマ	在宅医療介護におけるストレスやアンガーマネジメントについて ～医療介護者、更に家族に着目して～	在宅療養患者の緩和的放射線治療 ～通院負担のない単回放射線治療～	アドバンス・ケア・プランニングの考え方と実装
講師	特別講演 「支援者のメンタルヘルスを保つ感情の扱い」 横浜市立大学医学部看護学科 講師 田辺 有理子	講演1 「緩和的放射線治療のご紹介」 順天堂大学医学部放射線治療学講座教授 北里大学北里研究所病院 放射線科 非常勤講師 村上 直也 講演2 「放射線治療後の生活の注意点」 北里大学北里研究所病院 がん看護専門看護師 久米 恵江	講演 「アドバンス・ケア・プランニングの考え方と実装」 東京医療保健大学医療保健学部看護学科 東京医療保健大学大学院医療保健学研究科 教授 看護学博士 谷本 真理子
共催	港区、港区医師会、港区芝歯科医師会、港区麻布赤坂歯科医師会、港区薬剤師会、東京慈恵会医科大学附属病院	港区、港区医師会、港区芝歯科医師会、港区麻布赤坂歯科医師会、港区薬剤師会、北里大学北里研究所病院	港区、港区医師会、港区芝歯科医師会、港区麻布赤坂歯科医師会、港区薬剤師会、JCHO東京高輪病院

7 普及啓発

(1) 区民公開講座

港区ならではの地域包括ケアの取組について、区民や関係する施設職員、相談員等を対象に、区民公開講座を開催しました。

第1回	日時	令和6年9月6日（金）14時～16時
	会場	神明いきいきプラザ 集会室A
	参加者	27人
	テーマ	認知症の人とともに生きる地域づくりに向けて
	プログラム	・講演1「自宅で暮らす認知症の方への支援」 講師：荒川千晶（むすび葉クリニック渋谷） ・講演2「認知症の人とその家族が利用できる地域資源」 講師：佐山薫（芝浦港南地区高齢者相談センター） ・質疑応答
	アンケートの意見	・認知症の症状そのものだけでなく、生活する上での実情についても学べた。 ・お話を聴けてよかった。認知症のご本人の気持ち、状況にとっても寄り添ってくださる先生で、介護家族としてとても嬉しく思い、今後の励みにもなった。 ・認知症の当事者の方々への意思決定の尊重が重要であることを再認識できた。 ・区の施策内容を分かりやすく説明していただいた。

令和6年度第1回
区民公開講座の様子



令和6年度第1回
区民公開講座のチラシ



第2回	日時	令和6年11月19日（火）14時～16時
	会場	麻布区民協働スペース
	参加者	21人
	テーマ	在宅療養の実際～自宅で最期を迎えるために必要なこと～
	プログラム	・講演1「在宅での看取りについて～医師の視点から～」 講師：齋木啓子（悠翔会在宅クリニック新橋） ・講演2「在宅での看取りについて～訪問看護師の視点から～」 講師：賢見卓也（みるみる訪問看護ステーション） ・講演3「在宅での看取りについて～ケアマネジャーの視点から～」 講師：川名順子（キョタケアプランセンターみなと） ・質疑応答 ・情報提供「港区在宅療養相談センターのご紹介」
	アンケートの意見	・訪問診療の利用に関する意思確認などが理解できた。 ・訪問看護の基本的な内容について理解できた。 ・ケアマネジャーさんの役割がよく理解できなかったのが今回参加してよかった。 ・在宅療養相談センターの具体的な活用について理解できた。

令和6年度第2回
区民公開講座の様子



令和6年度第2回
区民公開講座のチラシ



(2) 医療機関・介護事業者検索システム

令和6年1月に公開した港区医療機関・介護事業者検索システムの区内の医療機関等（病院、診療所、歯科診療所、薬局）の情報を更新するため、一斉調査を行い、調査結果を反映しました。

調査時期：令和6年8月～9月



①医療機関掲載件数（令和6年10月時点）

	病院・診療所	歯科		薬局	全体
調査票送付件数	859件	614件		214件	1,687件
掲載件数 (割合)	491件 (57%)	378件 (62%)		150件 (70%)	1,019件 (60%)
掲載件数の内、 三師会員数	医師会員 273件	芝歯科医師会員 121件	麻布赤坂歯科医師会員 95件	薬剤師会員 74件	—

②運用

新規の掲載や掲載内容の変更、閉業等に伴う削除の希望があった場合は、随時システムを更新しました。

また、関係者専用ページには厚生労働省や東京都からの通知や、保健福祉課及び他課からのお知らせを掲載しました。

<お知らせ掲載例>

- ・東京都在宅医療ハラスメント相談窓口の開設について（東京都）
- ・港区地域包括ケア研修会開催のお知らせ（保健福祉課）
- ・結核医療従事者講習会開催のお知らせ（保健予防課）

(3) 在宅療養ガイドブック

ページ構成を更新し、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）や港区医療機関・介護事業者検索システム等の新しい情報を追加することで、区民が在宅療養や介護について理解し、必要になった時に必要なサービスを選択できるよう内容を充実させます。

改定時期：令和7年3月

配布先：港区在宅療養相談センター、高齢者相談センター、みなと保健所、いきいきプラザ、各地区総合支所区民課保健福祉係 等

●新規追加項目

- ・在宅療養にかかる費用
- ・在宅療養に対応できる医療機関の探し方
- ・在宅療養お役立ち情報
- ・人生会議～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）～
- ・緊急時の対応

●その他修正点

- ・各項目について即座に情報検索できるよう、二次元コードを添付
- ・緊急連絡先やかかりつけ医の情報を記載するページに本人氏名記入欄を追加
- ・在宅療養を支える職種の説明を詳述



